

「いちのせき市民フェスタ21」開催要項

趣旨

市内の市民活動団体を主とした団体もしくは個人、社会貢献活動を行う企業等が年に一度集い、展示、活動紹介のためのアトラクション等を展開することで、**広く市民のまちづくり活動への参加を促進するとともに、各種交流を図ることで、市民主体による地域社会の活性化を目指す。**

コンセプト

- ・市民（個人、団体、企業、行政など）の**参加・参画**
- ・市民活動への**市民の支持**（理解、参加、協力）の獲得
- ・市民活動団体、企業、行政の**交流促進、協力関係**の構築

主催者連絡先

いちのせき市民活動センター

一関市大町4-29 なのはなプラザ4階
 【TEL】0191-26-6400 【FAX】0191-26-6415
 【e-mail】center-i@tempo.ocn.ne.jp

開催日	2021年8月29日(日)
時間	10時～14時 ※例年より1時間短縮
会場	花と泉の公園 (一関市花泉町老松字下宮沢159-1)
主催	一関市 いちのせき市民活動センター
協力	いちのせき市民活動促進会議インナーチ

企画概要

1 テーマゾーン（市民活動団体大集合）

参加団体がそれぞれ日々の活動等を紹介するブースを出展し、会場に訪れた一般市民に向けてはもちろん、参加団体同士でも情報交換を行い、活動のさらなる発展、市民活動や地域づくり活動への理解や参加、協力の促進を図る。なお、広く市民活動団体等が参加できる機会となるよう、新規参加団体の公募も行う。※全体で30団体を想定。

3 冊子型パンフレットの作成

「市民のまちづくり活動への参加を促進する」という市民フェスタの目的を改めて推進すべく、告知チラシを団体紹介を盛り込んだ冊子にすることで、当日のみならず、告知段階から参加団体の活動に興味を持ってもらい、目的意識を持った来場者を増やす。

※B5サイズ8ページの冊子を予定。

※従来の周知チラシ同様、約1か月前から市内各所に配布。

2 主催者企画

集客力の向上や市民フェスタの周知、参加対象の拡大を狙い、主催者側でも企画を展開。今年度は敷地内の周遊が促されるよう、エリア毎に時間と場所をずらした参加型企画を検討中。
 ※各企画の詳細は6月上旬までに決定し、チラシにて公表するとともに、HPやSNS等を通じても情報発信し、集客につなげる。

4 その他

例年開催していた「イチコレ」は、コロナ禍での開催のあり方を検討し、今年度は試験的に市民フェスタとは別日程で開催する。

また、「弁当サミット」等の飲食を伴う主催者企画に関しても、コロナ禍の現状を踏まえ、慎重にブース展開の可否を検討・判断する。

なお、「ドネーションBOX(仮)」を設置し、参加団体の表現力向上につなげることも検討中(詳細は裏面に記載)。

開催までのスケジュール

※変更になる場合もあります

～6月1日(火)	参加申込受付（5月1日より公募開始）
～6月末頃	冊子作成用取材（告知チラシを兼ねた冊子作成(上記企画概要③)のため、参加申込団体の活動の様子等取材させていただきます。※申込受付団体から随時）
7月上旬	告知兼参加団体紹介冊子・ポスター完成／参加団体への配布開始
7月20日頃	決起集会＆会場見学会@花と泉の公園（日程は6月中旬にご案内予定）
8月28日(土)	会場準備（各ブース準備は前日及び当日朝のみ）
8月29日(日)	当日！（会場準備は8時半頃より可能。詳細は7月の決起集会にてご案内予定）

会場について

新型コロナウイルスの感染拡大防止をふまえ、「メイン会場」というものは設けず、広く「花と泉の公園」全体にブースを展開することを検討しています。下記が展開イメージです。あくまでも予定であり、最終的には参加団体の申込状況を見て決定します。

総合受付を駐車場通路の中央部に設け、園内全体に行き来しやすようにする

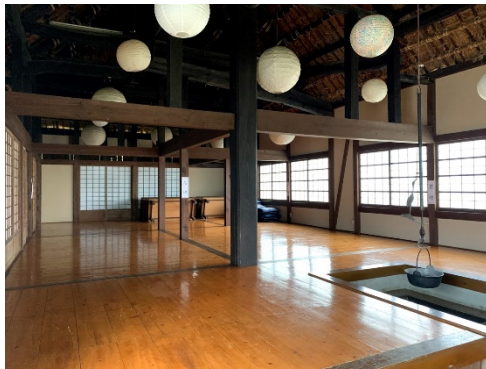
「れいなdeふるーれす」には、屋内でなければ難しい内容のブースを展開。目の前の駐車場にもブース配置。

花拓里の館およびその横にある芝生広場にもブース展開。



ぼたん園の手前にあるぼたんハウスおよびその周辺にもブースを展開。

※「花と泉の公園」は今年度から改修工事が着工となりますが、8月は大きな影響がないとのこと。ただし、7月～ベゴニア館が閉館となるため、当日は通路としてのみ使用予定。



▲「花拓里の館」の内部



▲「花拓里の館」横の芝生広場。隣にはトイレあり。



▲「ぼたんハウス」外観。5～8団体程配置可能

各団体のブースについて

- ・新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、団体間の間隔を2m程度はあけられるようにします。
- ・1団体あたりの占有面積は横2～5m、奥行き2～3m程度を目安に、配置する場所とブースの内容に応じて決めていきます。
- ・体験メニューに広い場所が必要など、上記には収まらないブース展開を希望の団体は、別途ご相談ください。
- ・なお、主催者側で各ブースに用意するのはテーブル1台、イス1脚のみとします。不足分は自団体で用意してください。
※テーブルのサイズは決起集会にて団体毎に相談します。
- ・屋外にブース展開する団体に関しては、こちらでも TENT を手配しますが、持参できるものがあればご協力をお願いします。
- ・電源の使用を希望する団体は、必ず申込用紙にその旨を記載してください。

「ドネーションBOX(仮)」の設置

昨年、一昨年とブース展開のあり方を見直し、参加団体のみなさまには、より交流を生み出しやすい「開けた」「参加型の」ブースづくりに取り組んでいただきました。

今年度はさらに「ドネーションBOX(仮)」の設置に挑戦してみたいと考えています。「ドネーション」は「寄付」や「寄贈」を意味する言葉で、欧米等では市民活動団体などが自団体の活動を報告し、それを聴いた市民(参加者)が寄付をするという「ドネーションパーティー」と呼ばれるイベントもあるようです。

寄付を得るためには、団体の活動や活動理念に共感してもらうことが不可欠です。共感を得るためには、活動内容がより伝わるような「表現力」が必要とされます。市民フェスタにおいても、各参加団体ブースの表現力がブラッシュアップされることで、市民の市民活動への理解が促されるだけでなく、来場者の満足度アップにもつながっていくのではないかと期待します。

そこで、参加団体のさらなる表現力向上を目指し、会場内に「ドネーションBOX(仮)」を設置し、来場者に「共感した・応援したい団体への寄付」を募ります。

※寄付は一口100円程度で、BOXは各ブースへの設置ではなく、受付等で一括管理できる仕組みを検討中。

なお、参加団体には改めて当企画に参加するかどうかの確認を行います(決起集会後を予定)。